

○尾関 哲也¹

¹名市大院薬

我々の FDPT SIG では、“Together We Can Make a Difference” をテーマとし、Pharmaceutical Practice と Science との融合を推進することを目的としている。最近の活動を以下に示す。

プログラム： 最も大きな活動は、オーストラリアのメルボルンで開催された PSWC において、2 つのプレナリー・セッション、4 つのキーノート、14 のシンポジウム/ラウンドテーブルを行い、さらに、FDPT SIG 関係で 235 のポスター発表がありました。また、FDPT SIG の Chair である Dr. Giovanni Pauletti は、2017 年スウェーデンのストックホルムで開催の PSWC の実行委員となることが決定した。本年 8 -9 月タイのバンコクで開催された FIP Congress において、FDPT SIG は Community Pharmacy Section とシンポジウムを共同で行い、臨床現場で実際に起こる医薬品不足、調剤・小スケールの院内製剤に対する薬剤師の役割について議論を行った。この Congress においては FDPT SIG 関係で 35 のポスター発表を行った。演者と Dr. Jayne Lawrence (King's College London、FDPT Vice-chair) は、“Meet the SIG” という会議を開催し各国の SIG メンバーと意見交換を行った。

メンバーシップ： Dr. Giovanni Pauletti は、2015 年ドイツのデュッセルドルフで開催の FIP Congress において、新たにポスター賞を設ける提案をし、採択された。また、彼は FIP の Vice-president に選ばれた。